



平成 23 年 10 月 25 日

各 位

会社名 株式会社 札幌北洋ホールディングス
(コード番号 8328 東証第 1 部・札証)

平成 24 年 3 月期第 2 四半期 (中間期) の業績予想修正並びに
平成 24 年 3 月期第 2 四半期 (中間期) の業績概要 (速報値) に関するお知らせ

平成 23 年 4 月 22 日に公表いたしました平成 24 年 3 月期第 2 四半期 (中間期) (平成 23 年 4 月 1 日 ~ 平成 23 年 9 月 30 日) の連結業績予想について、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

併せて平成 24 年 3 月期第 2 四半期 (中間期) の業績概要 (現時点における速報値) についてお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

(1) 平成 24 年 3 月期第 2 四半期 (中間期) (平成 23 年 4 月 1 日 ~ 平成 23 年 9 月 30 日)

【連結】 (単位: 億円)

	経常収益	経常利益	中間純利益	1 株当たり 中間純利益
前回発表予想 (A)	840	162	105	30 円 28 銭
今回修正予想 (B)	857	231	174	47 円 58 銭
増減額 (B) - (A)	17	69	69	
増減率 (%)	2.0	42.6	65.7	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 23 年 3 月期第 2 四半期)	866	188	113	33 円 00 銭

【ご参考: 北洋銀行】 (単位: 億円)

	経常収益	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A)	687	158	118
今回修正予想 (B)	716	226	189
増減額 (B) - (A)	29	68	71
増減率 (%)	4.2	43.0	60.2
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 23 年 3 月期第 2 四半期)	703	181	128

(2) 業績予想の修正理由

平成 24 年 3 月期第 2 四半期 (中間期) の業績に関しましては、人件費や業務委託費を中心に経費削減に努めたほか、政策効果等の影響で信用コストが前回発表予想を下回ったこと、さらにポートフォリオの入替えに伴う有価証券等売却益を計上したことなどから、経常利益は 231 億円と前回発表予想比 69 億円の増益、中間純利益は 174 億円と前回発表予想比 69 億円の増益となる見込みです。

なお、平成 24 年 3 月期通期業績予想につきましては、第 2 四半期 (中間期) の決算 (確報値) および今後の経済動向等の見通しを見極めた上で、平成 23 年 11 月に予定しております第 2 四半期 (中間期) 決算発表時に改めてお知らせいたします。

2. 平成24年3月期第2四半期(中間期)の連結業績概要(速報値)

- 平成24年3月期第2四半期(中間期)の連結コア粗利益は568億円と前年比45億円の減少となる見込み。投信解約益の減少(前年比27億円減少)や利回り低下に伴う預貸金収支の減少から資金利益が前年比44億円減少したことを主因とするもの。
- 経常利益は231億円と前年比43億円の増加となる見込み。増益の主な要因は、信用コストの減少(一般貸倒引当金の戻入益が発生したことを主因として前年比55億円減少)と有価証券等関係損益(前年比31億円増加)によるもの。
- 中間純利益は174億円と経常利益の増加および法人税等調整額の減少を主因として前年比61億円の増加となる見込み。

【連結】

(単位:億円)

	H22.9期 (実績)	H23.9期 (速報値)	前年比	H23.9期 当初予想	当初予想比
経常収益	866	857	9	840	17
連結コア粗利益	613	568	45	574	6
資金利益	503	459	44		
役務取引等利益	95	93	2		
その他業務利益	14	15	1		
経費(除く臨時処理分)	395	395	0	405	10
連結コア業務純益	218	173	45	169	4
信用コスト	38	17	55	12	29
有価証券等関係損益	0	31	31	0	31
経常利益	188	231	43	162	69
中間純利益	113	174	61	105	69

連結コア粗利益 = 資金利益 + 役務取引等利益 + その他業務利益 - 国債等債券関係損益

信用コスト = 貸倒償却引当費用 - 一般貸倒引当金繰入額 + 貸倒損失額

有価証券等関係損益 = 国債等債券関係損益 + 株式等関係損益 + 金銭の信託運用損益

連結コア業務純益 = 連結コア粗利益 - 経費(除く臨時処理分)

【ご参考:北洋銀行】

(単位:億円)

	H22.9期 (実績)	H23.9期 (速報値)	前年比	H23.9期 当初予想	当初予想比
経常収益	703	716	13	687	29
コア業務粗利益	579	533	46	541	8
資金利益	501	458	43		
役務取引等利益	73	70	3		
その他業務利益	4	5	1		
経費(除く臨時処理分)	386	385	1	397	12
コア業務純益	193	148	45	144	4
信用コスト	21	36	57	7	29
有価証券等関係損益	0	33	33	0	33
経常利益	181	226	45	158	68
中間純利益	128	189	61	118	71

3. 主要勘定残高（北洋銀行）

- ・ 資金量末残はすべての主体で増加し、6兆7,857億円と前年比931億円の増加となる見通し。
- ・ 預かり資産末残は7,734億円の見通し。
- ・ 貸出金末残は事業者向けおよび地公体向け貸出の増加により5兆2,336億円と前年比566億円の増加となる見込み。
- ・ 有価証券は価格変動リスクおよび流動性リスクの高い有価証券を削減したことにより1兆5,375億円と前年比163億円の減少となる見込み。

【北洋銀行】

（単位：億円、％）

	H22.9 末 （実績）	H23.9 末 （速報値）	前年比	
			前年比	年率
資金量	66,926	67,857	931	1.4
預かり資産	7,222	7,734	512	7.1
貸出金	51,770	52,336	566	1.1
有価証券	15,538	15,375	163	1.0

資金量 = 預金 + 譲渡性預金

預かり資産 = 公共債保護預かり + 投資信託 + 個人年金保険等（販売累計額）

4. その他有価証券の評価損益

- ・ 北洋銀行の有価証券の評価損益は相場下落の影響等により、413億円と平成23年3月末対比で291億円減少の見通し。

【北洋銀行】

（単位：億円）

	H23.3 末 （実績）	H23.9 末 （速報値）	3月末比	
			3月末比	3月末比
その他有価証券	704	413	291	
株式	220	146	74	
債券	295	280	15	
その他	187	13	200	

<ご参考>

	H23.3 末	H23.9 末	3月末比
日経平均株価（円）	9,755	8,700	1,055
新発10年国債利回り（％）	1.255	1.020	0.235

5. 金融再生法開示債権（北洋銀行）

- ・ 金融再生法開示債権は、最終処理の進展等に伴う破産更生等債権の減少により 1,792 億円と 3 月末対比 7 億円減少の見通し。
- ・ 開示債権比率（部分直接償却後）は、2.61%と 3 月末並みの見通し。

【北洋銀行】

（単位：億円、%）

		H23.3 末 (実績)	H23.9 末 (速報値)	3 月末比
	破産更生等債権	686	641	45
	危険債権	793	817	24
	要管理債権	319	333	14
	金融再生法開示債権	1,799	1,792	7
	（開示債権比率）	(3.37)	(3.35)	(0.02)
	部分直接償却後	1,384	1,389	5
	（開示債権比率）	(2.61)	(2.61)	(0.00)

当グループでは部分直接償却未実施ですが、参考として部分直接償却を実施した場合の計数を記載しております。
 開示債権比率 = 金融再生法開示債権 ÷ 総与信 × 100

以 上

業績予想ならびに速報値につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想等であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

実際の業績は、様々な原因によりこれらの業績予想値等とは異なる可能性があります。